

(新) 作業上衣 (建冬) 仕様書

行 財 政 局 人 事 部 給 与 課

(担当：高橋、望月 電話：2 2 2－3 2 2 6)

（新）作業上衣（建冬）仕様書

行 財 政 局 人 事 部 給 与 課

仕 様 書

1. 品 名

(新) 作業上衣 (建冬)

2. 納 品

納品数 327着

納品期限 令和8年12月28日

納品場所 建設総務課、北部土木みどり事務所、左京土木みどり事務所、東部土木みどり事務所、南部土木みどり事務所、西部土木みどり事務所、京北左京山間部土木みどり事務所、西京土木みどり事務所、伏見土木みどり事務所、都市総務課

3. 生 地

生地は次の生地規格又は同等品以上とし、染色後の生地見本（10 cm四方以上）及び生地メーカーの品質証明書・出荷引受書・公的機関等の試験成績を提出すること。

（過去に納入実績がある場合、公的機関の試験結果は写しでも可とする）

開札日以降に速やかに、要求課に承認を受け、必ず開札日を含め3日（日数計算に当たっては、休日を除く）後の午後5時までに、同等品報告書と共に提出すること。

上記期限までに提出が無い場合は、入札参加資格がないものとし、その者の入札は無効と致します。

4. 生地規格

項 目		規 格	試 験 方 法
1.混 紡 率		ポリエステル80% 綿 20%（内、導電糸1%） （縦横5 mm間隔リップストップ）	JIS L 1030
2.糸 番 手		（経）34/2 （緯）180d/2	JIS L 1096
3.組 織		綾 織	JIS L 1096 A法
4.密 度（インチ間）		（経）79本以上 （緯）63本以上	JIS L 1096 A法
5.巾×長さ（cm×m）		150cm×50m	JIS L 1096
6.重 量（g/m ² ）		210g/m ² 以上	JIS L 1096 A法
7.引張強さ（N）		（経）1100以上 （緯）1500以上	JIS L 1096 A法 （ラベルドストリップ法）
8.伸び率（%）		（経）15以上 （緯）52以上	
9.引裂強さ（N）		（経）60以上 （緯）90以上	JIS L 1096 A-1法 （シングルタンク法）
10.寸法変化率		（経）±1%以内 （緯）±1%以内	JIS L 1096 D法
11.堅 牢 度	耐 光	4級以上	JIS L 0842
	洗 濯	4-5級以上	JIS L 0844
	摩 擦	4-5級以上	JIS L 0849
	汚 染	4-5級以上	JIS L 0848

*1 色相につきましては要求課に提出し承認を受ける事とする。

5. 付属材料

区 分	仕 様	用 途
芯 地	一般的に使用されている接着芯で良質のもので当局の承認を得たもの。	衿 カフス 前立 雨蓋
衿 吊	表生地もしくは当局の承認を得たもの。	衿
縫 糸	本縫はポリエステル系の中番手（30～60 S） その他についてはポリエステル系の細番手（50～80 S）	表地と同系色
釦	ドット釦（13mm）指定色	前立 ポケット カフス
ファスナー	YKK製 4 号ビスロンファスナー オープン	前立
	YKK製 3 号ビスロンファスナー 止め	ポケット

6. 構造

（1）型式

ステンカラー、前開きファスナー、ドット釦前立て、両胸雨蓋付ポケット、左胸ファスナー付ポケット、前身切替、袖 2 枚袖肘部切替、裾表地ベルト（別図 1）

（2）条件

ア 針数

3 cm 間 12 針以上

イ 裁縫

糸調子は上下ともにツレ・タルミのないようにし返し針を完全にする。

7. 縫製仕様

（1）衿

衿幅は中央で 8 cm、衿先は幅 9 cm で縫合部は地縫い割りとする。全面に所定の芯地を入れ、周囲は地縫い返しとする。

（2）前立

幅 6 cm の比翼式仕立とし全面に所定の芯地を入れ、着用した場合に衿元にツレ、タルミの生じないようにすること。前立てはドット釦 3 個付とし、下前見返しには所定のファスナーを挟み込み、上前立ては身頃にファスナーを挟みこむ。

見返し幅は上部 9 cm、下部で 5 cm以上とし、見返し下部は腰ベルトに挟み込む。

(3) 胸ポケット

所定の位置に口幅 12.5 cm、深さ 18 cmの片玉縁ポケットを両胸に縫着し、雨蓋付とする。
ポケット上部には、幅 15 cm、高さ 5.5 cmの雨蓋を縫着し、ドット釦各 1 個止めとする。

(別図 2)

左ポケットの雨蓋端より 2.5 cmの位置に幅 3.0 cmのペン刺しを付ける。

雨蓋の周囲は地縫い端飾り縫いとする。左右雨蓋は身頃に挟み込む。

左胸ポケット上部 2.0 cmには、京都市市章を指定色（白色）にてプリントを施す。

右雨蓋付ポケット上部にはファスナー付きポケットを設ける。ファスナー長は 13 cm
とし、ポケット深さは 22 cmとする。

(4) 腰ポケット

前身頃切替部分に左右腰ポケットを設け、口幅 15 cm、深さ 6 cmとする。ポケット口の
上下には門止めを入れる。

(5) 後身頃

背中はノーフォーク式とし、折返しは 3.5 cmとし脇部との接合はオーバーロック仕立と
する。ノーフォーク止まりは門止めを施す。(別図 3)

(6) 袖

袖付けは 2 枚袖でセットイン式とし、肘部分の上袖には切替を入れる。

左袖には袖山から 8 cm下に幅 6 cm、縦 14 cmのペン刺しポケットを縫着し中央に
ステッチを入れる。(別図 4)

(7) 袖口・カフス

袖口タックの深さ 1.5 cmのものを 2 本外向きに付ける。袖口開きはカフス端より 13.5 cm
とし、カフスはシングル裏表 2 枚裁とし、所定の芯地を入れカフス幅 5.5 cmとする。
カフスにはドット釦を上前には 1 個、下前には調整機能を持たすため 3 cm間隔にて
ドット釦を 2 個縫着する。

袖開き始末は上前・下前ともに三つ折り仕立とし、開き上部にはカン止めを施す。

(別図 5)

(8) 裾ベルト

裾ベルトは幅 5.5 cmのベルトで両脇ゴム式とし、ゴムには伸び止めステッチを均等間隔
で 2 本入れる。ゴム上り寸法は L 寸＝12 cmを標準とする。

表生地使用し、前打合せ中心はドット釦止めとする。

(9) 衿吊・号数表示・片布

上衣裏側衿付け中央に号数表示を挟み込み、衿吊は表生地または当局の承認したものを
使用して付ける。

片布は下前身裏側の胸ポケットの位置に四方たたきにて縫着する。

8. サイズ表



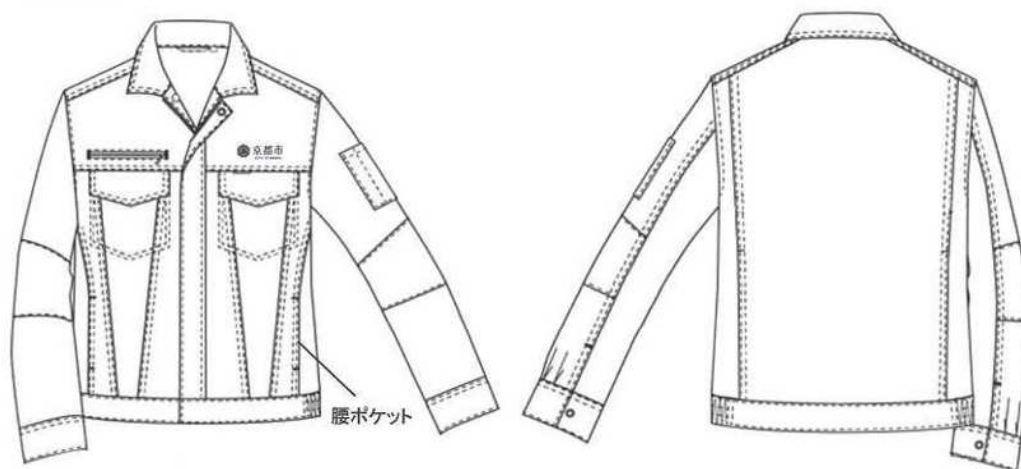
(1) 作業上衣(建冬)

単位；cm

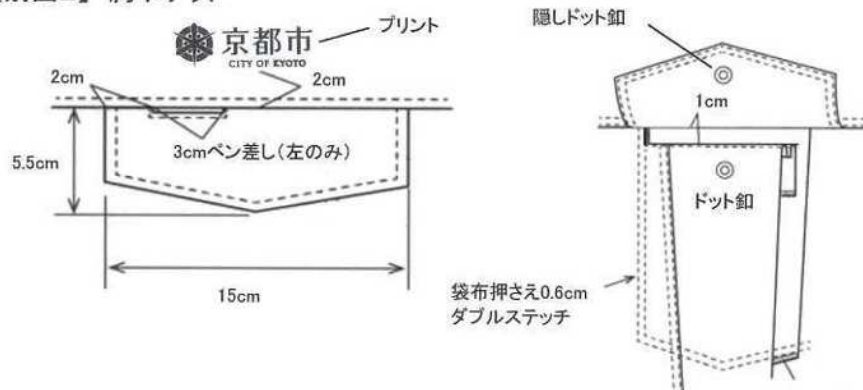
	S	M	L	LL	3L	4L	5L
着丈	61	63	65	67	67	70	70
胸囲	109	113	117	121	125	130	135
肩幅	44	46	48	50	52	54	56
袖丈	54	56	58	58	58	60	60
裾幅(縮/伸)	97/107	101/111	105/115	109/119	113/123	118/128	123/133

※上記以外のサイズは別寸とする。

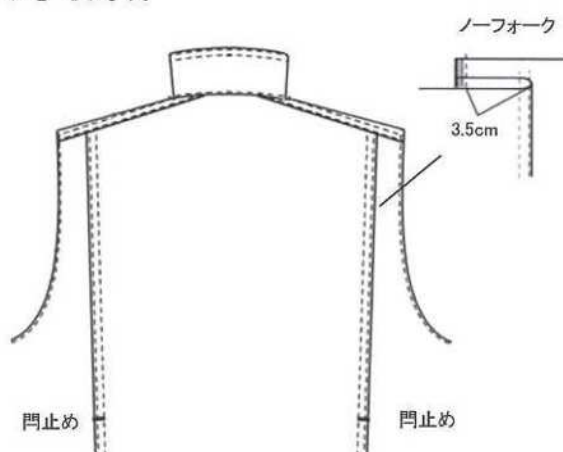
【別図1】



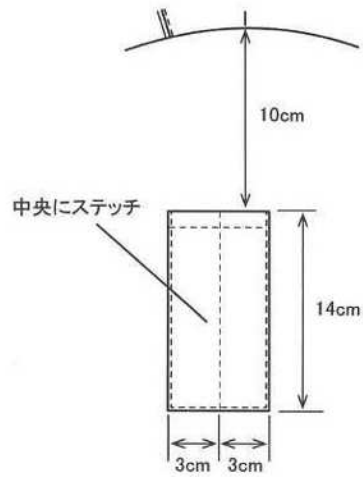
【別図2】 胸ポケット



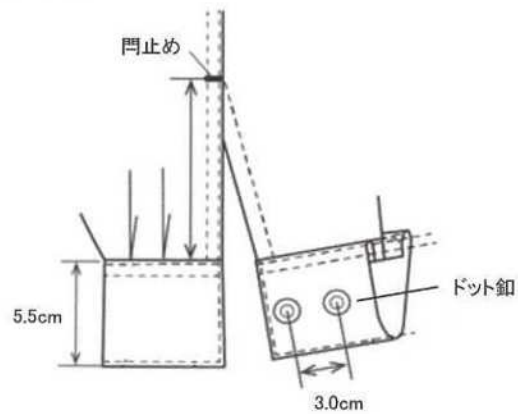
【別図3】 後身頃



【別図4】 左袖ペン差しポケット



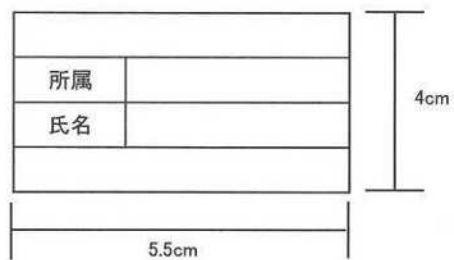
【別図5】 袖口



胸プリント



片 布



被服名（新）作業上衣(建冬)		サイズ内訳				
所属		S	M	L	LL	合計
建設局	建設総務課	11	52	73	0	136
建設局	北部土木みどり事務所	0	2	7	0	9
建設局	左京土木みどり事務所	1	9	2	0	12
建設局	東部土木みどり事務所	0	4	4	0	8
建設局	南部土木みどり事務所	2	0	6	0	8
建設局	西部土木みどり事務所	1	2	10	0	13
建設局	京北左京山間部土木みどり事務所	1	2	3	0	6
建設局	西京土木みどり事務所	1	1	6	0	8
建設局	伏見土木みどり事務所	4	3	5	0	12
都市計画局	都市総務課	5	51	5	54	115
合計		26	126	121	54	327